

「クヒストニ・マスチョ郡イヴァン・トジク地区フドギフィ村灌漑用水路建設計画」引渡し式

5月25日、宮下大使は、首都ドゥシャンベ市の約230km北東にあるクヒストニ・マスチョ郡を訪問し、「草の根・人間の安全保障無償資金協力」のスキームで実施された同郡イヴァン・トジク地区フドギフィ村灌漑用水路建設プロジェクトの引渡し式に出席したところ、概要は以下のとおりです。

- 1 宮下大使は挨拶で、「農業にとって水は不可欠であります。新しい灌漑システムによって安定的な水の供給が確保され、フドギフィ村がさらに緑豊かになるとともに、農作物の収穫量が増加し、農業従事者の収入向上につながることを期待しています」と述べました。
- 2 総額89,250米ドルの本プロジェクトは、人口約600人のフドギフィ村の農業水利インフラ改善を目的として、我が国政府が資金を供与し、クヒストニ・マスチョ郡により実施されたものです。全長2,270mの灌漑用パイプライン及び二つの貯水池が整備されたことにより、農業用水が安定的に供給され、農作物の収穫量増加につながるが見込まれています。
- 3 引渡し式にはクヒストニ・マスチョ郡のハイル口・ボゾルゾダ郡長をはじめ、大勢の地域住民が参席しました。ボゾルゾダ郡長からは、日本の支援に対する感謝の言葉が述べられました。



テープカットの様子



農業用水の供給安定化により収穫量が増加したジャガイモ畑



整備された灌漑用パイプライン



プロジェクト完了を祝してタジキスタンの伝統的な踊りを披露する住民